

福岡市文学館赤煉瓦夜話第74夜

「世にも不思議な「童話の里」はなし」

講師 ^{キム・ソンヨン} 金成妍（久留島武彦記念館館長）

2018年2月15日（木）18時30分～20時

会場 福岡市文学館（福岡市赤煉瓦文化館1階展示室）

👉 **要事前申込** 定員50名（先着順） 申込締切 2月7日（水）消印有効

葉書、FAX、電話、メールにて氏名、連絡先（電話（FAX）またはメールなど連絡可能な方法を1つ）を明記し下記まで。 ※締切後、残席がある場合定員まで受付

〔申込宛先〕

814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館文学・文書課「赤煉瓦夜話74夜」係

TEL 092-852-0606 FAX 852-0609 Eメール library-bungaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

講師プロフィール

金 成妍（キム・ソンヨン）

1978年韓国釜山生まれ。

2002年九州大学大学院に留学。恩師の花田俊典が急逝する三日前に手渡した本を通して「久留島武彦」を知り、研究をはじめ、2008年、博士号を取得。同年第48回久留島武彦文化賞を受賞。巖谷小波の研究も並行し、2016年第39回巖谷小波文芸賞を受賞。著書に『久留島武彦評伝ー日本のアンデルセンと呼ばれた男』、『風光るー巖谷小波俳句・俳画選集ー』、『鈴語庵の土鈴ー阿南哲朗コレクションー』等がある。

2012年4月より久留島武彦記念館の準備機関である「久留島武彦研究所」（玖珠町社会教育課）で所長を務め、2017年4月より久留島武彦記念館館長。

講師からのメッセージ

山奥に追いやられた村上海賊の末裔として生まれ、尾崎紅葉の紹介で巖谷小波に出会い、児童文学を目指したものの、海賊の熱い血を引いたためか、凄まじい「行動力」と「継続力」で、57年間「口演童話」を通した社会教育を実践した久留島武彦。彼の故郷である大分県玖珠町では、「童話の里」を掲げ、毎年子どもの日には「日本童話祭」を開催しています。しかし、なぜ玖珠が「童話の里」なのか、久留島武彦っていったい何をした人なのか、知る人が少ないです。世にも不思議な「童話の里」の話を、赤煉瓦夜話で聞いてみませんか。

